

## 第291回 日本体育大学長距離競技会

### 【出場結果】

実施日 : 10月2日(土) 10000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 小林 航央 関口 大樹 田中 龍誠

出場種目・出場者・リザルト

氏名	田中	関口	親崎	小林
種目	10000m	10000m	10000m	10000m
組	3組目	3組目	4組目	4組目
タイム	31'08"62	31'45"88	30'34"29	30'38"05
順位	6/27	12/27	7/17	8/17

### 【レポート】

前回の日本体育大学長距離記録会 5000m に引き続き、東日本実業団駅伝競走大会の本番を想定して4名の選手が10000mに出場して参りました。

レース出走時間が13時台となり、秋晴れの陽射しが強く照り付ける中で長距離を走るには厳しいコンディションでのスタートとなりました。



強い日差しが照り付けるコンディションでスタートを待つ関口と田中

3組目に出場した関口と田中は、暑さの中で後半のペースダウンを最低限に留めることを課題にスタートしました。序盤は田中が先頭を引っ張る積極的なレースを見せましたが、中盤に差し掛かるとペースダウンしてしまい、後方から追いついた関口と競い合う形でレースを進めました。

終盤に差し掛かると田中がペースを持ち直し、前から落ちてくる選手を次々に抜き去り 31分08秒台でのゴール、後半に急速にペースダウンした関口は 31分45分台でのゴールとなり、暑い中でも30分台でのゴールを期待しましたが、駅伝本番に向け課題が残る結果となりました。



序盤は積極的にレースを引っ張る田中



中盤以降の苦しい場面で競り合う関口と田中

続いて4組目に出場した親崎と小林は、ハイペースでレースを進める先頭集団に小林が序盤からついていき、親崎は1000mを3分で刻む第2集団でレースを進める形となりました。

中盤以降は小林も先頭集団のペースにつき切れず単独走となりましたが、ペースダウンを最低限に留めてラップを刻みました。

序盤から第2集団でペースを刻んでいた親崎は中盤以降もペースは大きく崩れず、6000m過ぎに前から落ちてきた小林を抜き去ると、そのまま粘り切って30分34秒台でゴールし、小林は、親崎からは遅れたものの、必死にラストスパートをかけ30分38秒台でゴールしました。

2名とも30分台のゴールでしたが、厳しい暑さの中でも力のある走りを見せてくれました。



中盤以降、単独走となったが必死に粘り抜く小林



終始冷静にペースを刻んだ親崎

今回は暑さの中でのレースとなりましたが、選手達の粘り強さを把握するには良い機会となりました。

駅伝本番もどのようなコンディションになるか分かりませんので、悪コンディションの中でも安定した力を発揮出来るよう、ここから1カ月間の練習で仕上げていきたいと思えます。今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上